

3月下旬刊行予定

現実のクリストファー・ロビン

瀬戸夏子ノート 2009-2017

瀬戸夏子 著

先鋭的な作品と批評により注目を集める歌人・瀬戸夏子。現代短歌を更新し続けるそのテキストの数々を集積した、初の評論集。

同人誌「町」「率」や機関誌「早稲田短歌」に発表された、穂村弘、荻原裕幸、永井祐など、「ニューウェーブ」、「ポストニューウェーブ」の歌人たちを論じた評論から、フェミニズムの視点からの批評を展開し、大きな議論を呼んだ角川「短歌」誌上での歌壇時評、著者へのロングインタビュー、日記や詩・小説作品、ネットプリントで配布された個人誌まで、その目を見張る多彩な活動の記録をここに集積する。

瀬戸夏子（せと・なつこ）

1985年生まれ。2005年の春より作歌を始め、同年夏、早稲田短歌会に入会。その後2009年の創刊から2011年の解散まで同人誌「町」に参加し、現在「率」同人。著作に第一歌集『そのなかに心臓をつかって住みなさい』（私家版、2012年）、第二歌集『かわいい海とかわいくない海 end.』（書肆侃侃房、2016年）。

この本をまとめるにあたって、たまっていた自分の文章を読みかえすことになったが、もちろん年月の経過による巧拙の差などはあれど、うんざりするほどひとつのことしか言っていないように思えた。それは、わたしはつねにクリストファー・ロビンを愛するが、現実のクリストファー・ロビンを知りたいという欲望に打ち勝つことはできず、結局のところ、そのふたりのあいだにあるものについて永遠に語りつづけていたい、という欲望である。その欲望とは一見関係のなさそうにとらえられるかもしれない文章にさえ、その欲望ははっきりと宿ってしまっている。（「あとがき」より）



四六判・並製（小口折り）・筒函入り
416頁／定価2,700円＋税
ISBN978-4-908568-20-6 C0095 ¥2700E

内容構成

すべてが可能なわたしの家で
——まえがきのかわりに

- I エッセイ
 - II 評論
 - III インタビュー、ブックガイド、日記
 - IV 歌壇時評
 - V 作品
- あとがき

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX 03-3721-1922**

TEL 03-6715-6121 E-mail info@tsubamebook.com <http://tsubamebook.com>

| | | | |
|----------|-----------------|----------------------------------|---|
| 貴店名（番線印） | 書肆子午線 新刊 | | info@shoshi-shigosen.co.jp 返品条件注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人 |
| | ご注文数 | 現実のクリストファー・ロビン 瀬戸夏子ノート 2009-2017 | |
| ご担当 | 様 | 冊 | ISBN978-4-908568-20-6 C0095 四六判・並製・筒函入り／416頁／定価＝本体2,700円＋税 |